

「最近の機械貿易動向(12月)～機械輸出伸び率11ヶ月連続プラス～」

日本機械輸出組合 2018.2.15

平成29年12月の機械輸出額は4兆7,153億円、対前年同月比8.3%増と、11ヶ月連続でプラスとなった。これは、①韓国・台湾向けを除く5地域向けがプラス成長となったこと、②自動車をはじめ、主要な18輸出業種がプラスとなったことなどによる。為替・営業日要因が5.6%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は2.7%増となった。平成30年1月の為替・営業日要因は4.3%の増加寄与要因となっているが、2月7日発表の貿易統計速報によれば1月上中旬の全商品輸出は8.0%増であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:7兆3,031億円(前年同月比 [以下同じ] 9.3%増、13ヶ月連続プラス)
- ② 全商品輸入額:6兆9,444億円(14.9%増、12ヶ月連続プラス)
- ③ 貿易収支:3,587億円、7ヶ月連続の黒字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:4兆7,153億円(8.3%増、11ヶ月連続プラス)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:2.7%増(15ヶ月連続プラス)
- ② 機械輸入額:2兆2,595億円(13.9%増、10ヶ月連続プラス)

(2) 為替・営業日動向

2017年12月に5.6%、2018年1月に4.3%の増加要因となる一方、2月は13.1%の減少要因となる。

(3) 地域別動向

- ① 韓国・台湾向けを除く5地域向けがプラス(図表4、5)
- ② 北米向け:2.4%増、11ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ③ 中国向け:16.0%増、14ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:8.5%増、13ヶ月連続プラス(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:7.5%増、11ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:1.5%減、17ヶ月ぶりマイナス(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:15.9%増、6ヶ月連続プラス(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中18業種がプラス。そのうち10業種が二桁の伸び

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 通信機械部分品(中国、ASEAN・南アジア向け中心、6ヶ月連続輸出伸び率上位機種)、電池(中国、ASEAN・南アジア向け中心、7ヶ月連続上位)、工作機械(中国、北米向け中心、3ヶ月連続上位)等が大きくプラス
- ② 産業用ロボット(中国、北米、EU向け中心、11ヶ月連続上位)、半導体製造装置(韓国・台湾、中国向け中心、3ヶ月連続上位)等も好調に輸出が継続
- ③ 鉄道車両、デジカメ・ビデオ等が大きくマイナス

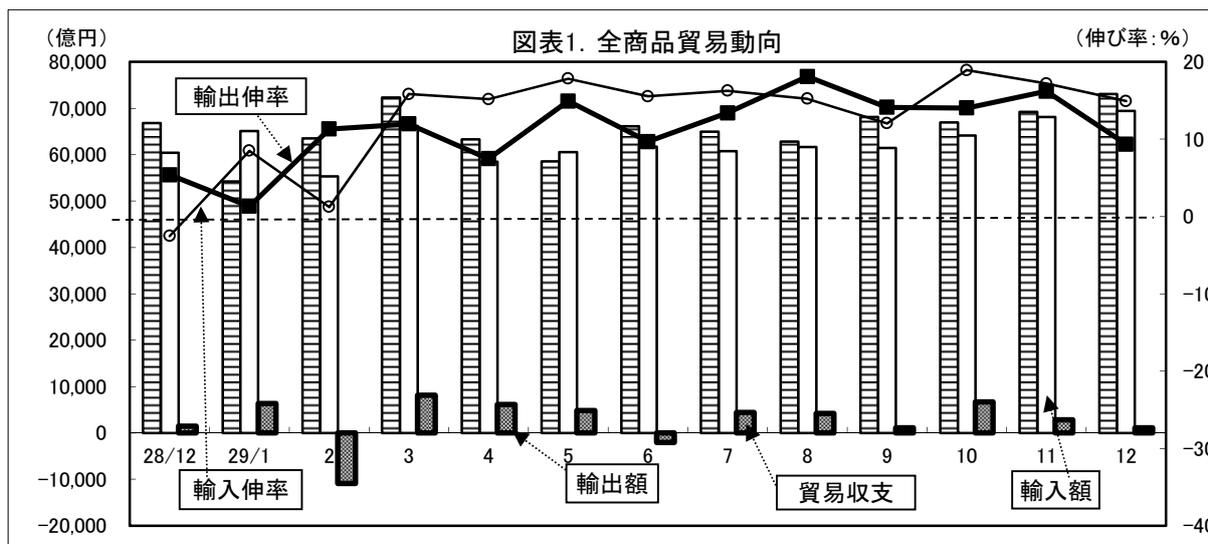
(6) 機械輸入動向(図表14)

- ① 機械輸入額上位12機種のうち、10機種がプラス
- ② そのうち携帯電話、乗用車の2機種が二桁以上のプラス

II 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は13ヶ月連続プラス、輸入も12ヶ月連続でプラス～

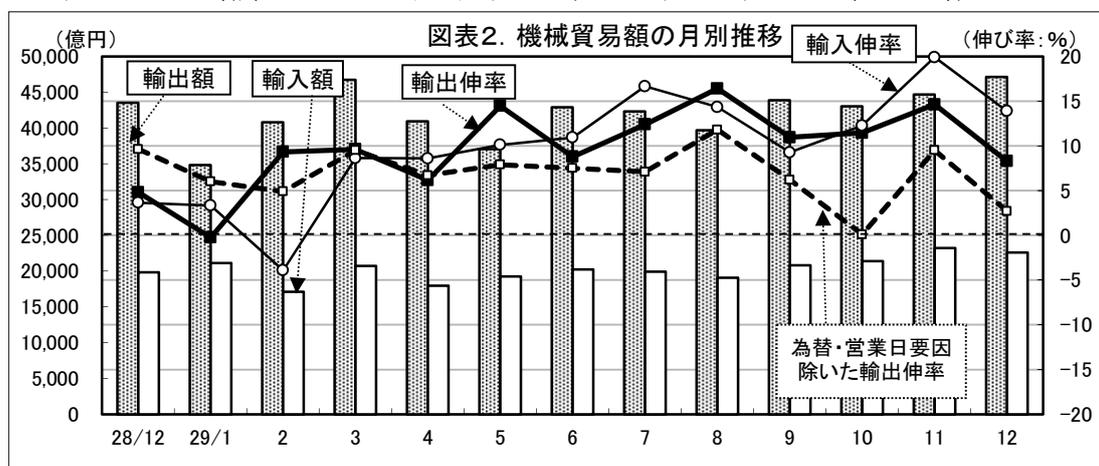
- 1) 平成29年12月の全商品輸出額は**7兆3,031億円**、前年同月比(以下同じ)**9.3%増**と13ヶ月連続でプラスとなった(11月16.2%増)。これは、全輸出額の約21%を占める一般機械(13.9%増)をはじめ、約18%を占める電気機器(9.0%増)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(12.0%増)、プラスチック等化学製品(11.1%増)等がプラスとなったためである。
- 2) 輸入額は**6兆9,444億円**、**14.9%増**と12ヶ月連続でプラスとなった(11月17.2%増)。これは、全輸入額の約24%を占める原粗油等鉱物性燃料(27.6%増)が12ヶ月連続でプラスとなったことに加え、電気機器(18.9%増)、原料別製品(12.1%増)等がプラスとなったことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、3,587億円と7ヶ月連続の黒字となった。(11月は1,122億円の黒字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は11ヶ月連続、輸入も10ヶ月連続でプラス～

- 1) 全商品輸出額の約65%を占める12月の機械輸出額は**4兆7,153億円**、**8.3%増**と11ヶ月連続でプラスとなり(11月14.6%増)、その水準は、リーマンショック前(2007年12月)と比べると**92.2%**となって、前月に比べて3.3ポイント改善した(11月88.9%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は3.0%増**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約33%を占める機械輸入額は、**2兆2,595億円**、**13.9%増**と10ヶ月連続でプラスとなり(11月19.9%増)、リーマンショック前(2007年12月)の水準に比べ、34.9%増となっている。

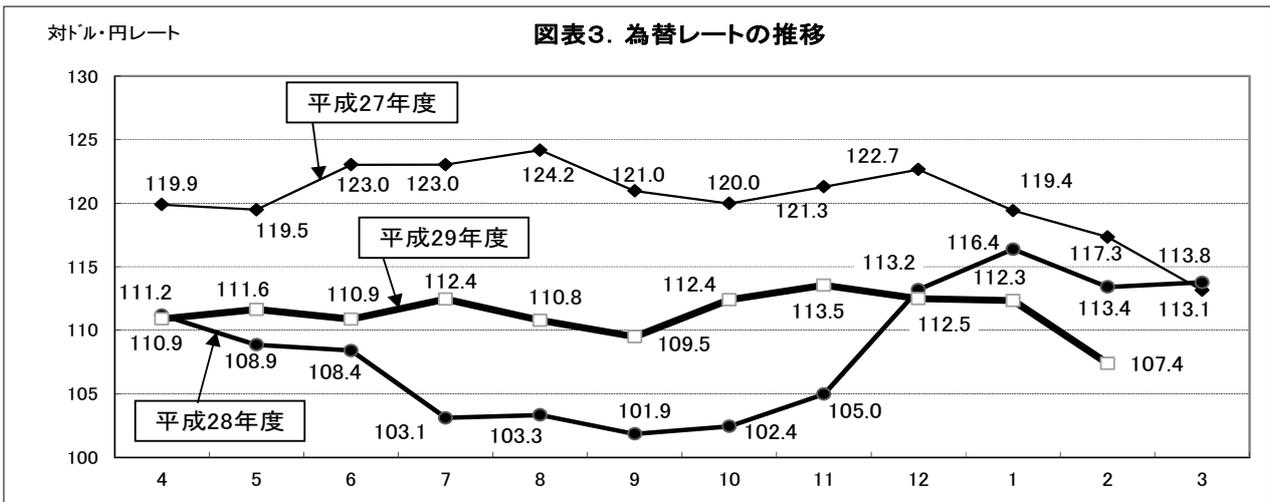


(2) 為替・営業日動向～12月は5.3%の増加要因、1月は4.3%の増加要因～

1) 2017年12月は1ドル=112.5円となり、前年に比べ0.6%の円高となった。また、対ユーロは132.8円と前年に対して9.9%の円安となり、合わせて約0.3%の為替増加要因となった。営業日は前年より1日多いため、5.3%の増加要因となり、合計で約5.6%の増加要因となる。12月の輸出額は8.3%増であったことから、実質的伸び率は2.7%増と15ヶ月連続プラスとなった(11月9.5%増)。

2) 2018年1月は1ドル=112.3円で前年比3.5%の円高、対ユーロは134.7円で前年比10.0%の円安となり、合わせて約1.2%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じであるが、中華圏における春節の影響を考慮すると約5.5%の増加要因となり、合計で約4.3%の増加要因となる。

3) 2018年2月は、対ドルが2月14日17:00時点の107.4円とすれば、前年に比べて5.3%の円高、また、対ユーロは132.9円で9.4%の円安となり、合わせて約2.1%の為替減少要因となる。営業日は前年に比べて1日少なく、中華圏における春節の影響も考慮すると約11.0%の減少要因となり、合計で約13.1%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～韓国・台湾向けを除く5地域向けがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の25.1%を占める最大輸出先の北米向けでは、全体の約55%を占める自動車(0.6%減)がマイナスとなったものの、産業機械(1.8%増)、航空機部品(8.6%増)、建設機械(47.1%増)等が増加し、2.4%増となった。②24.2%を占める中国向けでは、産業機械(36.1%増)、自動車(9.6%増)、電子デバイス(9.6%増)等が増加して16.0%増となり、③14.4%のASEAN・南アジア向けは、ベトナム(24.0%増)、インドネシア(21.1%増)、等が大きく増加し、業種では、自動車(6.8%増)、産業機械(22.1%増)、電子デバイス(6.7%増)等がプラスとなり、8.5%増となった。④11.9%を占めるEU向けは、約36%を占める自動車(2.1%減)がマイナスとなったものの、産業機械(5.9%増)、理化学用機器等軽機械(3.4%増)、軽電気機械(21.6%増)等がプラスとなって7.5%増となり、⑤10.3%を占める韓国・台湾向けは、電子デバイス(1.5%増)、自動車(9.9%増)等が増加したものの、36%を占める産業機械(12.0%減)のマイナスから1.5%減となった。⑥14.0%のその他地域向けでは、大洋州(25.4%増)、ロシア東欧等(21.5%増)、中南米(19.0%増)向けが大きくプラスとなり、機種では、自動車(14.6%増)、船舶(2.1倍)等が大きく増加して15.9%増となった。

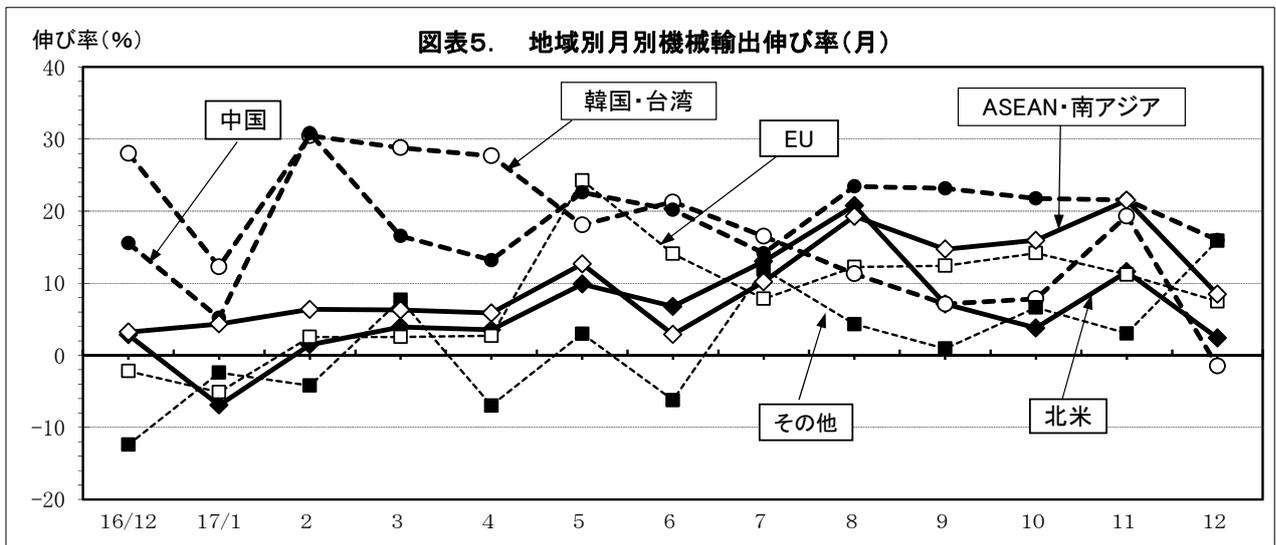
2) また、リーマンショック前の2007年12月の地域別輸出額と比較すると、中国、ASEAN・南アジア向けが100%を超え、韓国・台湾、北米向けが90%台、その他地域向けが70%台、EU向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2017/10			2017/11			2017/12			対07年 12月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	43,052	11.4	100.0	44,674	14.6	100.0	47,153	8.3	100.0	0.92
北米	10,499	3.8	24.4	11,583	11.6	25.9	11,833	2.4	25.1	0.93
中国	9,882	21.8	23.0	10,269	21.6	23.0	11,430	16.0	24.2	1.27
ASEAN・南アジア	6,404	16.0	14.9	6,842	21.5	15.3	6,807	8.5	14.4	1.05
EU	5,327	14.2	12.4	4,980	11.2	11.1	5,627	7.5	11.9	0.66
韓国・台湾	4,377	7.9	10.2	4,751	19.3	10.6	4,867	▲1.5	10.3	0.98
その他	6,564	6.6	15.2	6,250	3.1	14.0	6,589	15.9	14.0	0.70

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

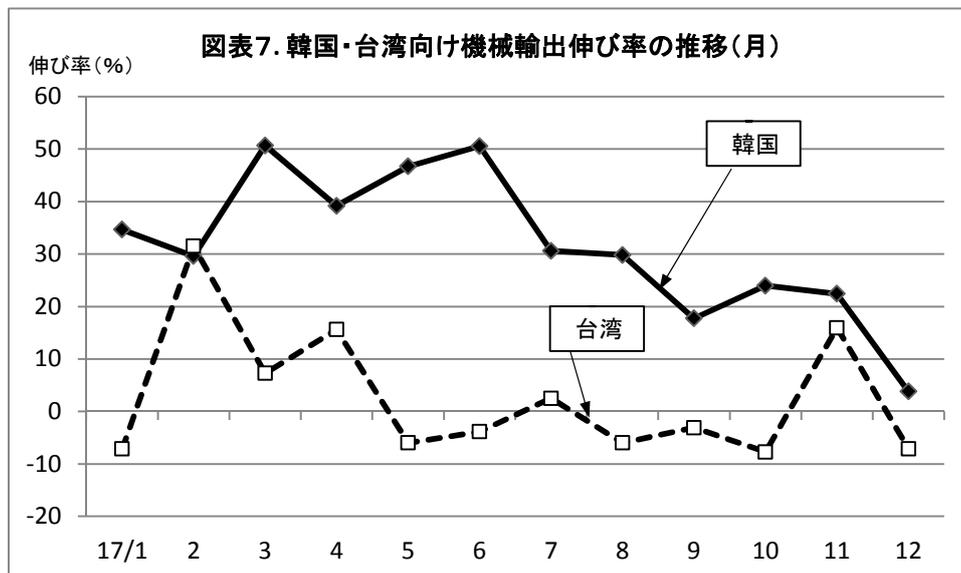


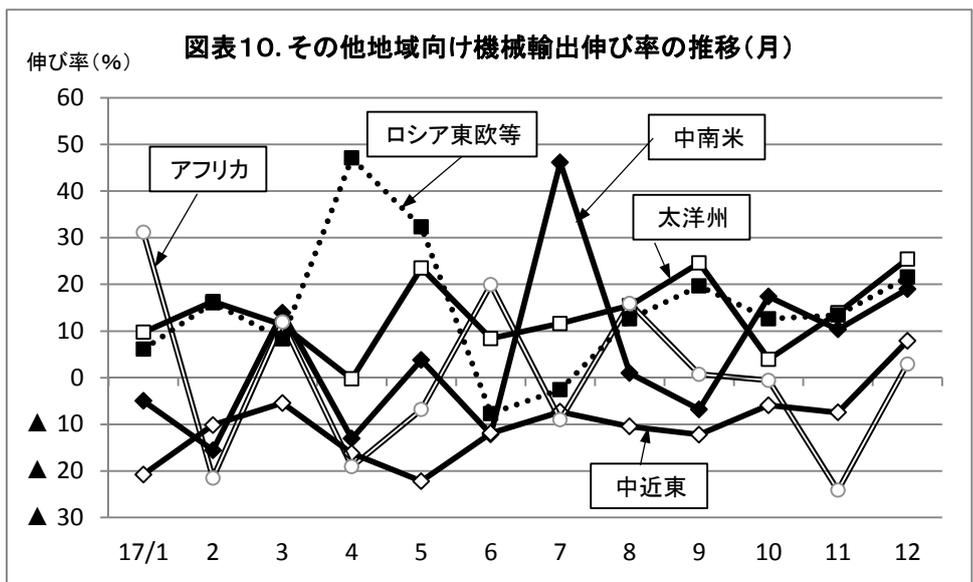
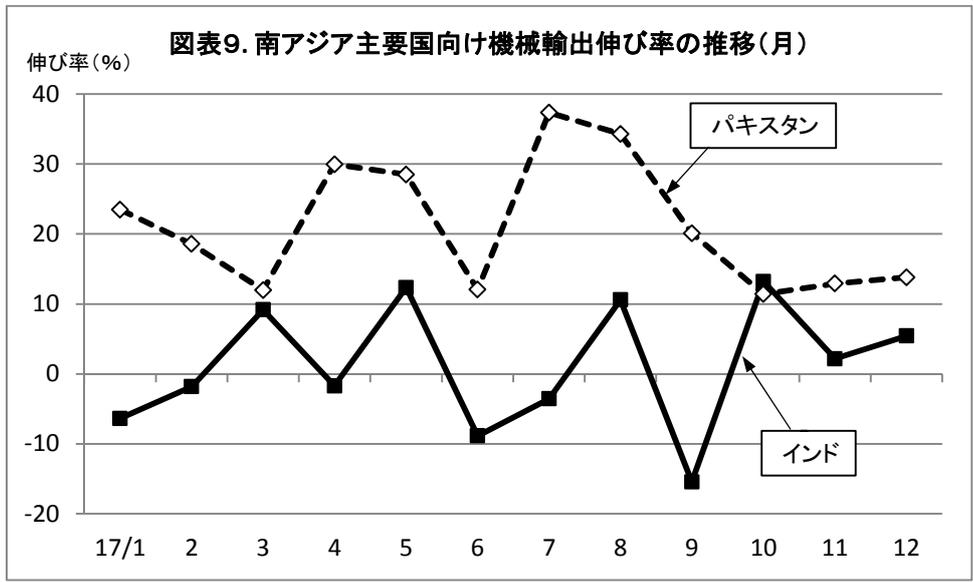
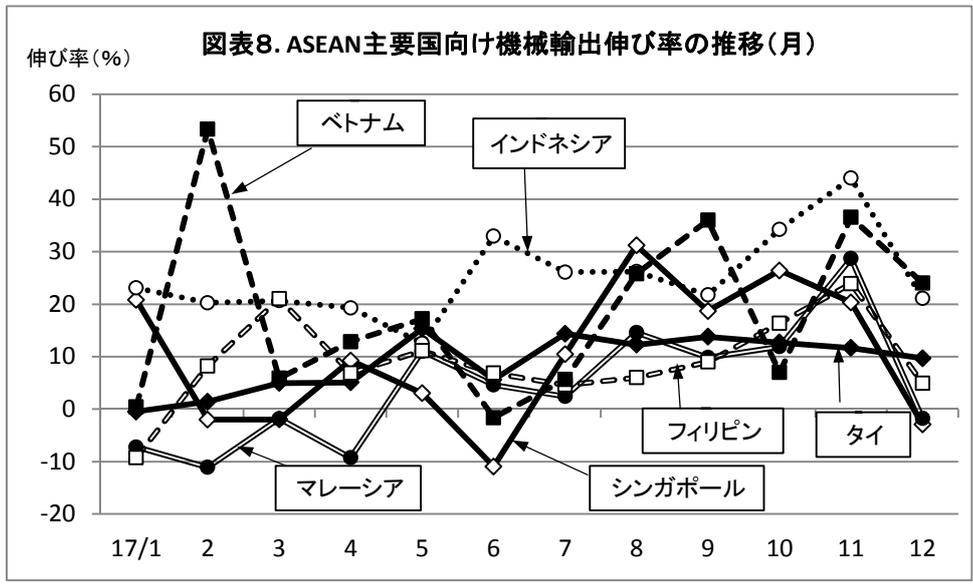
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円、%)

国名	2017/9		2017/10		2017/11		2017/12	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,457	17.7	2,474	24.0	2,564	22.4	2,644	3.8
台湾	2,094	▲ 3.1	1,903	▲ 7.7	2,187	15.9	2,223	▲ 7.1
ASEAN・南アジア								
タイ	1,742	13.8	1,705	12.7	1,664	11.7	1,774	9.7
シンガポール	944	18.7	908	26.4	945	20.3	944	▲ 2.9
インドネシア	805	21.7	806	34.3	922	44.0	778	21.1
マレーシア	698	9.8	692	11.9	795	28.7	673	▲ 1.8
フィリピン	703	9.0	743	16.4	760	23.9	683	4.9
ベトナム	854	36.0	727	7.0	897	36.5	939	24.0
インド	409	▲ 15.4	419	13.2	440	2.2	500	5.4
パキスタン	187	20.1	176	11.4	166	12.9	206	13.8
その他地域								
中南米	2,187	▲ 6.8	2,079	17.4	1,981	10.3	1,945	19.0
中近東	1,814	▲ 12.2	1,653	▲ 5.9	1,691	▲ 7.5	1,902	7.9
大洋州	1,368	24.6	1,258	3.9	1,160	13.9	1,245	25.4
ロシア東欧等	1,130	19.7	1,111	12.6	902	13.4	957	21.5
アフリカ	529	0.7	465	▲ 0.6	458	▲ 24.1	474	2.9

▲は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中 18業種がプラス。うち産業機械等 10業種が二桁の増加～

- 1)業種別では、民生用電子機械(2.8%減)等 3業種を除く 18業種がプラスとなり、そのうち、産業機械(10.3%増)、重電気機械(10.1%増)をはじめ 10業種が二桁の伸びとなり、機械全体で 8.3%増となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、ベアリング、軽機械、医療機械、産業機械、工作機械、光学機械、重電気機械の 8業種となった(11月も 8業種)。他方、民生用電子機械が 40%台の低い水準にある。

図表 11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2017/10				2017/11				2017/12				対07/12 比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	15,438	7.1	35.9	自動車	16,219	9.6	36.3	自動車	16,670	4.9	35.4	0.91
産業機械	7,628	14.0	17.7	産業機械	8,059	20.6	18.0	産業機械	8,927	10.3	18.9	1.12
電子デバイス	3,446	9.0	8.0	電子デバイス	3,560	14.1	8.0	電子デバイス	3,697	6.9	7.8	0.86
軽電気機械	2,200	8.5	5.1	軽電気機械	2,263	13.6	5.1	軽電気機械	2,496	6.8	5.3	0.91
重電気機械	2,154	14.6	5.0	重電気機械	2,161	15.8	4.8	重電気機械	2,346	10.1	5.0	1.05
軽機械	1,691	10.7	3.9	軽機械	1,715	11.1	3.8	軽機械	1,867	6.5	4.0	1.29
民生用電子機械	1,503	6.8	3.5	民生用電子機械	1,513	11.5	3.4	民生用電子機械	1,559	▲ 2.8	3.3	0.47
光学機械	1,383	11.8	3.2	光学機械	1,425	16.3	3.2	光学機械	1,450	0.1	3.1	1.08
建設機械	1,176	38.7	2.7	建設機械	1,262	45.9	2.8	建設機械	1,306	35.6	2.8	0.8
船舶	1,156	14.3	2.7	船舶	967	▲ 18.8	2.2	工作機械	929	40.0	2.0	1.08
工作機械	750	35.4	1.7	通信機械	906	53.8	2.0	通信機械	921	42.8	2.0	0.89
通信機械	738	20.2	1.7	工作機械	796	51.5	1.8	船舶	816	▲ 2.3	1.7	0.50
航空機部品	720	5.7	1.7	航空機部品	686	8.7	1.5	航空機部品	703	5.4	1.5	2.04
医療機械	489	14.4	1.1	医療機械	527	24.7	1.2	医療機械	591	12.7	1.3	1.23
電子計算機	471	15.1	1.1	電子計算機	523	28.8	1.2	電子計算機	587	27.9	1.2	0.53
ベアリング	425	17.6	1.0	ベアリング	429	16.2	1.0	ベアリング	461	11.1	1.0	1.30
陸用内燃機関	390	25.1	0.9	陸用内燃機関	416	27.9	0.9	陸用内燃機関	431	8.4	0.9	0.98
繊維機械	234	33.9	0.5	繊維機械	211	15.3	0.5	繊維機械	232	5.8	0.5	0.81
農業機械	196	12.3	0.5	農業機械	193	22.1	0.4	農業機械	228	15.7	0.5	0.94
産業車両	123	10.4	0.3	産業車両	129	12.8	0.3	産業車両	134	24.6	0.3	0.58
鉄道車両	113	▲ 6.0	0.3	鉄道車両	126	12.4	0.3	鉄道車両	98	▲ 22.8	0.2	0.99
21業種合計	42,423		98.5	21業種合計	44,089		98.7	21業種合計	46,448		98.5	0.92

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～通信機械部分品、工作機械等が大幅増、鉄道車両、デジカメ・ビデオ等が大幅減～

- 1)10%以上の伸び率を示した機種のうち上位 10 機種は、①中国、ASEAN・南アジア向け**通信機械部分品**(87.8%増)、②中国、北米、EU、ASEAN・南アジア向け**工作機械**(40.0%増)、③中国、ASEAN・南アジア向け**電池**(37.0%増)、④北米向け**建設機械**(35.6%増)、⑤ASEAN・南アジア、EU 向け**発電機**(32.8%増)、⑥北米、ASEAN・南アジア、EU 向け**電子計算機**(27.9%増)、⑦その他地域、ASEAN・南アジア向け**産業車両**(24.6%増)、⑧中国、北米、EU 向け**産業用ロボット**(21.5%増) ⑨韓国・台湾、中国向け**半導体製造装置**(17.8%増)、⑩北米、EU 向け**農業機械**(15.7%増)
- 2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、鉄道車両(22.8%減)、デジカメ・ビデオ(19.6%減)であった。

図表 12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2017/10			2017/11			2017/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
通信機械部分品	427	42.8	通信機械部分品	565	97.0	通信機械部分品	579	87.8
電池	271	40.3	半導体製造装置	2,369	54.7	工作機械	929	40.0
建設機械	1,176	38.7	工作機械	796	51.5	電池	301	37.0
工作機械	750	35.4	建設機械	1,262	45.9	建設機械	1,306	35.6
産業用ロボット	234	34.4	電池	253	42.1	発電機	107	32.8
繊維機械	234	33.9	電子計算機	523	28.8	電子計算機	587	27.9
半導体製造装置	2,096	29.5	陸用内燃機関	416	27.9	産業車両	134	24.6
陸用内燃機関	390	25.1	医療機械	527	24.7	産業用ロボット	222	21.5
ベアリング	425	17.6	電動機	177	23.8	半導体製造装置	2,699	17.8
バルブ・コック	450	16.2	産業用ロボット	196	22.9	農業機械	228	15.7
機種合計	6,453	*15.0%	機種合計	7,084	*15.9%	機種合計	7,092	*15.0%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器
 理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター
 その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電気機器:部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

図表13. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2017/10			2017/11			2017/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	50	▲ 27.0	発電機	51	▲ 19.6	鉄道車両	98	▲ 22.8
原動力機械	327	▲ 17.6	船舶	967	▲ 18.8	デジカメ・ビデオ	299	▲ 19.6
機種合計	377	* 0.9%	磁気カード・ディスク等	122	▲ 14.5	機種合計	397	* 0.8%
			原動力機械	470	▲ 13.0			
			機種合計	592	* 1.3%			

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～携帯電話、乗用車等が大きくプラス～

1) 12月の機械輸入伸び率は13.9%増と10ヶ月連続でプラスとなり、上位12機種のうち10機種がプラスとなった。そのうち携帯電話(105.1%増)と乗用車(25.3%増)の2機種が二桁以上のプラスであった。上位12機種のうち、マイナスとなったのは、航空機・部品等(21.9%減)、受信変換その他送受信機器(6.8%減)の2機種であった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に携帯電話、電子計算機、航空機・部品等、白物家電、医療機械、受信変換その他送受信機器、時計、TVの8機種となっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の41%を占める中国(19.5%増)、ASEAN・南アジア(20.4%増)、EU(8.8%)、北米(2.8%増)、韓国・台湾(7.4%増)、その他地域(13.2%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2017/10				2017/11				2017/12			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
携帯電話	2,695	11.8	12.6	携帯電話	2,930	87.8	12.6	携帯電話	2,559	105.1	11.3
電子デバイス	2,474	24.1	11.6	電子デバイス	2,548	23.9	11.0	電子デバイス	2,320	3.3	10.3
電子計算機	1,813	15.6	8.5	電子計算機	1,970	10.9	8.5	電子計算機	2,108	6.3	9.3
自動車部品	1,261	9.1	5.9	自動車部品	1,373	11.9	5.9	乗用車	1,430	25.3	6.3
乗用車	1,052	13.3	4.9	乗用車	1,243	33.7	5.4	航空機・部品等	1,153	▲ 21.9	5.1
航空機・部品等	994	▲ 10.2	4.6	航空機・部品等	1,005	▲ 15.4	4.3	自動車部品	1,144	2.2	5.1
医療機械	682	12.0	3.2	白物家電	760	12.9	3.3	白物家電	766	9.9	3.4
白物家電	653	7.5	3.1	医療機械	730	7.5	3.1	医療機械	707	5.0	3.1
配電機器	615	22.8	2.9	配電機器	635	19.7	2.7	配電機器	584	7.6	2.6
受信変換その他送受信	549	5.3	2.6	受信変換その他送受信	558	▲ 1.2	2.4	受信変換その他送受信	583	▲ 6.8	2.6
その他の配電制御装置	413	9.0	1.9	その他の配電制御装置	456	13.8	2.0	その他の配電制御装置	431	5.9	1.9
コンデンサー等部分品	389	11.3	1.8	コンデンサー等部分品	416	7.2	1.8	コンデンサー等部分品	394	7.2	1.7
12機種合計	13,590		63.5	12機種合計	14,624		63.0	12機種合計	14,179		62.8

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等